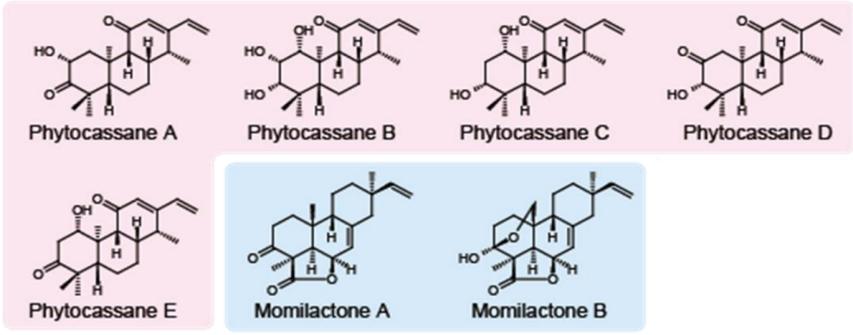


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第25回イソプレノイド研究会例会
演題名	イネのジテルペン型ファイトアレキシン生合成遺伝子クラスターの進化軌跡
発表者	○宮本皓司、藤田雅丈、Matthew R. Shenton、菅原千都、坂井亜莉里、嶋根真奈美、堀江清孝、長谷川守文、川出洋、三渉、野尻秀昭、 <u>山根久和</u> 、倉田のり、岡田憲典、豊増知伸 (植物化学研究室)
内容	イネの主要な病害抵抗性反応として抗菌性二次代謝物質（ファイトアレキシン）の生産があげられる。イネのジテルペン型ファイトアレキシンであるモミラクトンおよびファイトカサンの生合成遺伝子は遺伝子クラスターを形成していることが知られているが、その形成機構は全く明らかになっていない。本発表では、イネの祖先種および近縁種を用いて比較ゲノム解析や生化学的解析を行うことで、ジテルペン型ファイトアレキシン生合成遺伝子クラスターの進化過程に関して議論を行った。なお、本発表は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」による支援を受けて行った。
関連画像	 <p>モミラクトンおよびファイトカサンの構造</p>